

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	国立音楽大学
設置者名	学校法人国立音楽大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	専攻・専修名		夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
					全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
音楽学部	演奏・創作学科	声楽専修		夜・通信	20	0	36	56	13	
		鍵盤楽器専修		夜・通信	24	0	36	60	13	
		弦管打楽器専修		夜・通信	20	0	36	56	13	
		ジャズ専修		夜・通信	20	0	36	56	13	
		作曲専修		夜・通信	24	0	32	56	13	
		コンピュータ音楽専修		夜・通信	40	0	0	40	13	
音楽学部	音楽文化教育学科	音楽文化教育専攻	音楽教育専修	夜・通信	28	0	0	28	13	
			音楽療法専修	夜・通信	12	0	16	28	13	
			音楽情報専修	夜・通信	20	0	0	20	13	
		幼児音楽教育専攻		夜・通信	28	0	0	28	13	
(備考)										

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.kunitachi.ac.jp/introduction/data/disclosure/index.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国立音楽大学
設置者名	学校法人国立音楽大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (<https://www.kunitachi.ac.jp/introduction/board.html>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	会社役員	4年（2019年4月1日 ～2023年3月31日）	理事長
常勤	会社役員	4年（2019年4月1日 ～2023年3月31日）	総務・財務担当
非常勤	大学教授 （他法人）	4年（2019年4月1日 ～2023年3月31日）	経営戦略担当
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国立音楽大学
設置者名	学校法人国立音楽大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
①授業計画(シラバス)の作成については、まず各科目の担当教員に作成依頼を行う。その際、以下の項目は記入必須としている。 ・授業目標：到達目標を具体的に明記する ・授業内容・計画：各回の授業内容を簡潔に記載する。(15回分) ・準備学習の内容：授業時間外に必要とされる準備学習(予習・復習等)の具体的な内容、および可能な限り必要な時間について記載する。 ・成績評価の方法：試験方法(筆記試験、実技試験等)、レポート提出の有無。 ・教科書：教科書(使用テキスト)、参考書について記載する。 ②提出された授業計画(シラバス)は、学部の科目については、教務委員会、全学共通教育委員会の委員が、大学院の科目については、大学院運営委員(学務担当)が全てチェックを行う。 (依頼時期：11月中旬頃、公表時期：3月下旬頃)	
授業計画書の公表方法	http://syllabus.kunitachi.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
授業計画(シラバス)に基づき、平常の学修成績・試験・レポート等によって、各授業科目の評価を行ない、単位の授与、履修の認定を行なっている。 卒業演奏試験などの実技試験においては、複数の教員により実技審査を行ない、客観性を持たせている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価における客観的な指標として、GPAを導入している。授業科目の成績(AA・A・B・C・D・欠・失)に点数(4・3・2・1・0・0・0)を与え(GP:グレードポイント)、各授業科目のGPにその科目の単位数を乗じた数の合計を、履修登録した科目の総単位数で割って算出している(GPA)。GPAによる成績評価は、進級判定や学生の学習指導に活用しており、GPAの算出方法は学生便覧に掲載し学生に周知している。また、学年ごとに成績の分布状況をシステムで把握できるようになっている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kunitachi.ac.jp/undergraduate/college/requirements.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) Diploma policy/くにたちが育てる学生像 本学部は、下記の資質・能力を修得し、それらを総合的に活用できる人に学位(学士)を与える。 1. 現代・過去の音楽、文化、社会に対して多面的な関心を持ち、生涯にわたって、自主的かつ自律的に学修することができる。 2. 音楽のみならず文化や社会について幅広い知識を身につけている 3. 音楽の世界を多面的・批判的に理解し、考えることができる 4. 音楽の基本的な実践的技能を身につけ、個性的な表現や独創的な創作ができる 5. 音楽に関する研究や調査の結果を、文章や制作物の形で表現できる 6. 大学で学んだことをもとに、音楽家あるいは教育家として、社会参加しようとする態度をもつ 上記のポリシーに基づき卒業認定は適切に実施している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.kunitachi.ac.jp/undergraduate/college/index.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	国立音楽大学
設置者名	学校法人国立音楽大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kunitachi.ac.jp/introduction/data/financial.html
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	〃
監事による監査報告(書)	〃

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書)	対象年度: 平成30年度)
公表方法:	https://www.kunitachi.ac.jp/introduction/data/financial.html
中長期計画(名称:	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

https://www.kunitachi.ac.jp/documents/introduction/data/Accreditation/houkokusho_2015.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

https://www.kunitachi.ac.jp/documents/introduction/data/Accreditation/hyokakekka_KCM_2016.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 音楽学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kunitachi.ac.jp/undergraduate/college/index.html） （概要） 本学部は、自由、自主、自律の精神を尊重した教育によって、基本となる知識や技能を備え、健全な考えや判断ができ、さらに専門的な知見や能力をもち、日本や世界の幅広い分野で、音楽を通して社会に貢献できる音楽家、教育家を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kunitachi.ac.jp/undergraduate/college/index.html） （概要） 本学部は、下記の資質・能力を修得し、それらを総合的に活用できる人に学位（学士）を与える。 現代・過去の音楽、文化、社会に対して多面的な関心をもち、生涯にわたって、自主的かつ自律的に学修することができる 音楽のみならず文化や社会について幅広い知識を身につけている 音楽の世界を多面的・批判的に理解し、考えることができる 音楽の基本的な実践的スキルを身につけ、個性的な表現や独創的な創作ができる 音楽に関する研究や調査の結果を、文章や制作物の形で表現できる 大学で学んだことをもとに、音楽家あるいは教育家として、社会参加しようとする態度をもつ
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kunitachi.ac.jp/undergraduate/college/index.html） （概要） 本学部は、卒業の認定に関する方針に掲げる資質・能力を育成するために、下記の方針に従って、教育課程を編成・実施する。 1：「教養科目」、「基礎科目」、「共通選択科目」、「専攻・専修科目」の4種類の科目群を配置する 2：1・2年次を「基礎課程」、3・4年次を「専門課程」とする
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.kunitachi.ac.jp/undergraduate/college/index.html） （概要） 本学部は、以下のような人を入学者として受け入れる。 1：自らの意思で行動し、自主的かつ自律的に学修する意欲のある人 2：教職員や他の学生と協調して学び、生活することで、自己を高める意欲のある人 3：大学入学前に必要とされる基本的な知識・技能を身につけている人 4：大学での学修を通して、専門的な知識・技能、高度な思考力・表現力を修得する意欲のある人 5：将来、日本や世界の幅広い分野で、音楽家、教育家として、あるいは音楽による社会活動を通して、社会に貢献する意欲のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.kunitachi.ac.jp/introduction/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3人	－					3人
音楽学部	－	50人	23人	0人	0人	0人	73人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		324人					324人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.kunitachi.ac.jp/faculty_list/index.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業についての研究会及び授業公開（教員相互の授業参観）を、各科目会で年に1回以上実施している。授業公開後に教員による研究協議を行い、授業改善に役立てている。その他には、授業アンケートや教職員研修会を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
音楽学部	400人	324人	81.0%	1600人	1331人	83.2%	人	5人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
（備考） 編入学定員は設けていない								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
音楽学部	373人 (100%)	46人 (12.3%)	179人 (48.0%)	148人 (39.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な進学先・就職先）（任意記載事項） 主な進学先：本学大学院等、主な就職先：学校・幼稚園教諭、企業等				
（備考）				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
① 授業計画（シラバス）の作成については、まず各科目の担当教員に作成依頼を行う。 その際、以下の項目は記入必須としている。 ・授業目標：到達目標を具体的に明記する ・授業内容・計画：各回の授業内容を簡潔に記載する。（15 回分） ・準備学習の内容：授業時間外に必要とされる準備学習（予習・復習等）の具体的な内容、および可能な限り必要な時間について記載する。 ・成績評価の方法：試験方法（筆記試験、実技試験等）、レポート提出の有無。 ・教科書：教科書（使用テキスト）、参考書について記載する。
② 提出された授業計画（シラバス）は、学部の科目については、教務委員会、全学共通教育委員会の委員が、大学院の科目については、大学院運営委員（学務担当）が全てチェックを行う。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
学力評価は平常の学修成績・試験・レポート等によって認定する。
AA：合格（秀にあたる） 100～90 点（単位認定する）
A：合格（優にあたる） 89～80 点（単位認定する）
B：合格（良にあたる） 79～70 点（単位認定する）
C：合格（可にあたる） 69～60 点（単位認定する）
D：不合格（不可） 59～ 0 点（単位認定しない）
合格：合格（履修の成果が本学所定の基準以上であることを示す）（単位認定する）
欠席：試験日に欠席又はレポート未提出を示す（単位認定しない）
失格：出席日数が規定数に足りないことを示す（単位認定しない）
卒業の認定については本学音楽学部にて 4 年以上在学し、所定の授業科目を履修し、最低 124 単位以上を修得した者に学位を授与する。
なお、本学は CAP 制を採用しており、1～3 年次は上限 44 単位（特別給費奨学生は 1, 2 年次のみ 48 単位）、4 年次は原則として 50 単位とする。卒業要件外の教職科目（選択）、学芸員科目（選択）は含まない。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
音楽学部	演奏・創作学科	124 単位	有・無	単位
	音楽文化教育学科	124 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.kunitachi.ac.jp/introduction/campusmap/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
音楽学部		1,250,000 円	150,000 円	800,000 円	施設設備費：500,000 円、 維持運営費：300,000 円
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）本学では、勉学面および経済面の両面においてサポート体制を整えている。勉学面では全専任教員にオフィスアワーを設定し、どの教員にでも勉学に関することや学生生活に関する相談ができる仕組みを取り入れている。また、非常勤教員のメールアドレスを学生に公開し、授業に関する疑問等を質問できるようにしている。 経済面においては本学独自の各種奨学金制度を設け、学費支弁者の失職等による家計急変などに対して支援できる仕組みを取り入れている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）本学卒業生の卒業後の進路は、大学院進学、海外留学、プロの演奏家を目指す、教職に就く、一般企業に就職するなど、多岐にわたっている。それぞれの学生が将来の道を切り開いていけるよう、4年間の大学生活を計画的に送るための支援体制が整っている。カリキュラムについても、将来を見据えてキャリアデザインを考えられるよう、個々人の目的に合った、さまざまな学びをサポートしている。 各種試験対策講座、進路に関する情報提供、キャリアカウンセラーによる個別相談、オフィスアワーを利用した教員への相談など支援体制が整っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）学生が充実した学生生活を送れるよう保健管理室を設置し、こころと身体をサポートをしている。保健師が常駐し、けがや病気の応急処置や健康相談を行なっている。また、学生自身が抱える問題や悩みを解決するため、臨床心理士による学生相談が週2回実施されている。さらに希望者は精神科医にも相談できる体制が整っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： <https://www.kunitachi.ac.jp/introduction/data/disclosure/index.html>